

西川 コミュニティだより

第55号

■発行／西川地域コミュニティ協議会

電話 0256-88-5900

■発行日／令和5年9月22日

FAX 0256-78-7544

■〒959-0423

■ホームページ／<http://kasaboko.jp>

■住所／西蒲区旗屋701-2

水辺を巡る

西川まち歩きのおくからくろく事務局 野沢 達雄
数年前のことです。

『まち歩きボランティアガイド養成講座』を受けていて、講師から課題が出ました。

「みなさんのまちの魅力のひとつで表してください」
ぼんやりとしか考えていなかったことを、あらためて言葉にするのは難しい。

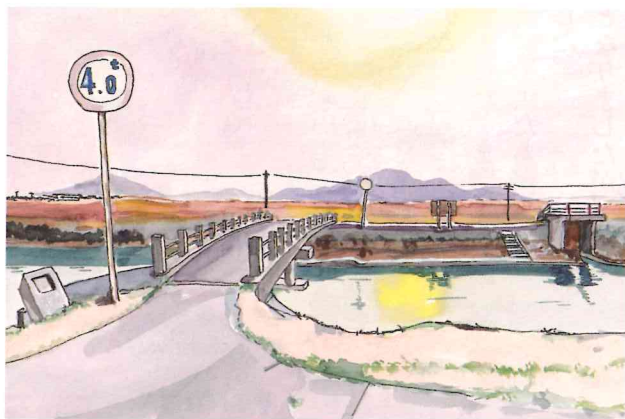
その時に何と答えたのか、はっきりとは覚えていないのですが、いま同じことを求められたら、迷わず「水辺」とか「川の風景」と言うでしょうね。

まちの真ん中を流れる西川だけでなく、網の目のように張り巡らされた水路は四季折々、空の色を映します。

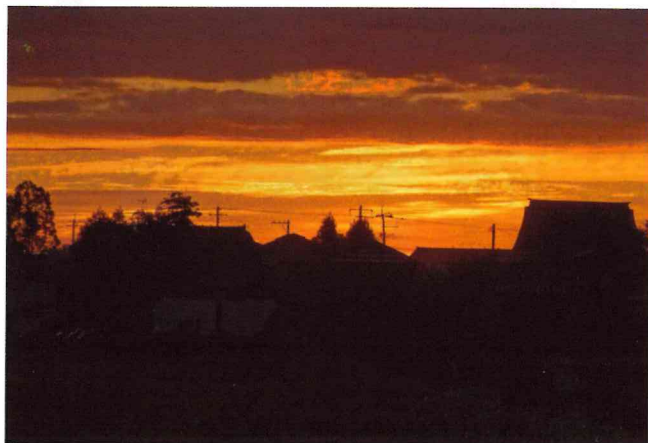
関係者の方々が朝な夕なに、掃除などに汗を流しているおかげで、豊かな流れは途切れず、見る者をいやしてくれます。

まち歩きガイドの順路を決める時も、日ごろの散歩コースを考える時も、水辺のスポットは欠かせません。

散歩の途中に描いた一枚目の挿し絵は善光寺近くの大沼橋。一九六五（昭和四〇）年十二月二十七日に完成したもので、西川図書館の郷土史コーナーで見た「町誌」には、「旧善光寺橋を永久橋に架け替え、大沼橋に改称した」とありました。



※次頁へ



▲善光寺の夕暮れ



▲ざくろ(善光寺地内)

■西川地域の総人口:10,465名(-41名) ■男:5,058名(-28名) ■女:5,407名(-13名) ■世帯数:4,084戸(+8戸)

()は、前号との比較 (令和5年8月末日現在)

※前頁より

さて大沼とは…。昔、大きな沼があったの
でしょうか。

橋の向こうには黄金色の田んぼが広が
ります。秋の暮色に染まる角田山に越後
線のシルエット。飽きない景色です。

大沼橋は、西川に架かる橋の中では
町内最北端。一方、最南端にあるのは
西汰上の蔵前橋です。一九九四（平成六）
年三月十八日に架け替えられました。

橋の四隅に立つ「親柱」は、蔵をかた
どったもので、欄干にも蔵や稲穂が装
飾されています。何と凝ったつくり。
川の水が稲を育て、採れたコメは蔵に
収まり、舟で運ばれる。橋が物語るわ
がまの歴史ですね。



ほどこ近い土手に、古い木舟が残され
ていました。
二枚目の挿
し絵です。
ゆったり
した流れの
上をこんな
舟が上った
り下ったり。
遠い時代に
思いを馳せ
ました。

〔西川まつり〕

西川まつりを終えて

広報まちおこし部会 江端 繁

四年ぶりの開催となった「西川まつり」は八月
二十六日、二十七日賑やかに行われました。

私の住んでいる鮎町内では子供みこしを小学
生と保護者の方々が中心となり、山車に飾る絵
を作成し、従来作成してあった傘ぼん人形を有
志が手分けして完成させました。八月十五日に
夕方から鮎神社の境内へ引き出し「傘ぼこ盆唄」
に合わせ踊って披露いたしました。また、二十
五日午後五時から約一時間、子供たちが中心と
なり鮎町内を引き回しました。

今年の夏は異常な暑さとなりましたが、祭り
の期間中、御神輿渡御を始め、各町内の屋台、
傘ぼこ行列や盆踊り、福もち播きと各行事に皆
さんが力を合わせ、祭りを盛り上げてくれました。
また県警音楽隊の方々のパレード、西川中学校
による演奏など、本当にご苦労様でした。



スーパーマリオに扮したかさぼんと鮎の子供たち



鮎地区のメンバーでかさぼん最後の仕上げ中

〔祭り〕

一番町屋台、ありがとう

編集委員 灰野 直義



一番町屋台

絵・田澤 則夫

暑い！祭り準備の
二十五日、朝六時か
ら作業開始だが、す
ぐに汗だくに。暑さ
が心配だ。
が、祭り当日は、
雲が広がり、風もあ
り、一安心。天候も
四年ぶりのフル開催
を後押し。今年の二

番町屋台に「これが、祭りだ。」と、教えても
らいました。人手が無くて、一番町・二番町屋
台は行列に参加できないのではないだろうか。
と心配されていた。一番町は屋台の行列参加が
出来ない！と結論が出ました。

二番町屋台は行列に加わり見事な曳き回しで
した。一旦は二番町も参加しないと、決まった
ようです。「祭りぐらいい、やろう。」と有志が立
ち上がり、町内の人たちに働きかけ、気運をも
りあげた。結果、有志の輪が大きくなり、住民
が力を合わせて祭り屋台を出したそうです。地
域の纏まりと心意気が伝わってくる二番町屋台
に「祭りの心」を觀ました。

「一年一度の祭りらっけ、やらんば。」・・・
「やっば、祭りは楽しい。」・・・
祭りが地域の力となりますように祈ります。

【祭り】
みんな集まれ
西川子供ぼんおどりFES!

コミ協地域振興部会長 内藤 和範

むせかえる猛暑の八月中旬 今年で五回目を数える《西川子供ぼんおどり》が開催されました。会場は、西川出張所前の駐車場にて、華やかなやぐらを中心に、縁日コーナーやキッチンカーなどが数店並び会場内は、お祭りの雰囲気につつまれ、大勢の方の笑顔や笑い声であふれていました。

開演アトラクションでは、鼓調の和太鼓、相撲育成会による相撲甚句、よさこい踊り、フラダンスなどが披露されました。また、シャボン玉アーティストによるパフォーマンズが行われ、巨大シャボン玉に子供達は大賑わいでした。最後は全員で越後傘ほこ盆唄で締めくくり、大盛況のもと終わることができました。

今年は無ーマスク開催としましたが、感染者の報告や事故等はありませんでした。ご来場者様、関係各所実行委員の皆様、ご協力ありがとうございました。



コロナ禍前の賑やかな祭り風景が戻りつつある中で、西川地域の夏の恒例行事として、来年も、さらに賑やかに開催できればと思います。

【祭り】
「越後にしかわ時代激まつり」が開催されます

【日】10月8日(日)

【場】西川ふれあい公園
※雨天の場合、西川体育センターおよびその周辺で行われます。

◆代官献上米行列

出 発：午前11時10分(曾根金剛寺)

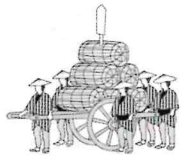
到 着：午後12時(西川ふれあいセンター)

◆代官役：行員 寧々(BSNアナウンサー)

◆代官献上米行列セレモニー

その他催し物、お楽しみ抽選会など

【目】がっつーにしかわ実行委員会



【祭り】
病院祭「みさと祭」に出かけてみませんか!

西蒲中央病院院長 鰐淵 勉

この度、当院にて十月十四日(土)に西蒲中央病院祭「みさと祭」を開催いたします。

みさと祭は、地域貢献の一環として、地域の方々との交流を深めることを目的としたイベントです。今年で五回目を迎えるみさと祭は、例年と同様、地域の皆様に楽しんでいただける内容を盛り込んでおります。

当日は、病院や施設の紹介、健康相談、金魚すくいなどのゲームコーナー、野菜の直売など、さまざまな催し物をご用意しております。健康相談では、看護師が皆様の健康に関する不安や相談にお答えしたり、金魚すくいなどのゲームコーナーでは、小さなお子様から大人まで、どなたでも楽しんで頂けると思います。他にも抽選会や作品展などたくさんの方のコーナーを準備し、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

入場無料です
どなた様もお気軽にお越しください

- 日時:10月14日(土) 13:00~15:00
- 場所:西蒲中央病院 ※駐車場あります



【文化】

思い出の作品

善光寺 佐藤 知巳

この原稿の依頼をいただきパソコン内の写真を見返してみてもこの二枚を選びました。どちらも数年前に撮影したものです。



「満月と秋桜」

月明りの逆光で秋風にゆれる秋桜を風が止まるのを待って撮影しました。



「ヒガンバナ」

街灯もない真っ暗な近所の畑の隅に咲いていたヒガンバナをピント合わせに苦労しながらの撮影でした。

【高校生奮闘記】

古民家改修応援バザーとだいろアート展

新潟工業高校・建築部の挑戦

六月十七日と十八日に第一回かのうハウス回収支援バザーを地域の方により開催していただきました。このバザーは建築部の活動として行っている旧・前山洋服店の改修費用をバザーで皆様から支援して頂く事を目的として開かれました。

今回のバザーは、西川地域のお店や住宅にチラシを配って宣伝をしたので、多くのお客様が起こしくださり、とても賑やかでした。たくさん品の物を、ご寄付頂き販売できたのですが、このバザーで一番人気だったのは、学校机と椅子のセットでした。私も家に欲しいと思っていました品物だったので同じように思っていた方がいて嬉しく感じました。



(毛嶋 凌久)



私たちは七月二十九日から八月六日まで第三回だいろアート展を開催しました。建築部員や地域の方が個性あふれるカタツムリを絵や折り紙、刺繍や粘土などで表現した作品を飾り、多くの方に見て頂きました。



まただいろアートだけでなく、部員が塗った漆喰壁や床なども見てお褒めの言葉を掛けて頂けて、かのうハウスへの興味と関心を深めてもらう事ができたと思います。



だいろアート展をきっかけにして、かのうハウスに足を運んでもらい、この町のマスコットであるカタツムリに愛着を持って頂ける良い機会になったと思います。おいでくださった皆様、ありがとうございました。

(豊島 咲徳)



【海外協力隊】

これまで、そしてこれから(第二話)

元鐘郷小学校教員 井口 昭夫

第二話は、子どもたちのアンテナを海外に向けさせるためにしてきた事を紹介します。

井口家の家庭内総合的な学習

私は二十歳の時に大学を休学してイスラエルのキブツでユダヤ人と一緒に働いていました。四月働いた後は、「世界を見てやろう」と放浪の旅に飛び出しました。日本を目指して、ヒッチハイクをしたり、ローカルバスを乗り継いだりしての旅です。東から流れてくる旅人に情報をもらいながら、旅を繋いでいきました。今のように「地球の歩き方」やインターネットなどがなかった時代です。でもその時に出会った人や経験したこと、会話した内容まで、何十年たつてもまるで昨日のこのように思い出せます。学んだこともたくさんありま



世界中から集まった若者達

(イスラエルの砂漠で働いていた20歳の頃です。イスラエルのモシャブ時代)

した。このよう

な学びや、旅の

面白さ、世界の

文化の多様性

などを我が子

にも伝えたく

て、小学校四年

生から中学三

年生くらいまで

毎年夏休み、二週間ほど子どもを連れて、海外を

放浪していました(「家庭内総合的な学習」)。

日頃忙しくて話もあまりできませんが、その

二週間は二十四時間、私と子どもだけの時間で

す。今思うと、その旅の思い出はかけがえのない

財産になっています。

AFS

「AFS」という高校生の留学を支援している

団体をご存じでしょうか?世界中の高校生の

留学を支援することで世界の人たちの相互理解

を深め、世界平和実現のお手伝いをしています。

井口家では、何回かホストファミリーとして留学

生を受け入れていました。一年間とお世話する

期間はちょっと大変ですが、新しい風が家の中に



砂漠でのキャメルトリップ

(遊牧民と2泊3日のショートトリップ。エジプト日本人学校時代)

吹き込んできます。何より、子ども達の海外のア

ンテナが伸びるよいチャンスです。毎日、高校に持

たせるお弁当を作るのが大変ですが、家庭で世界

を感じる事ができる貴重な経験になります。

また、「AFS」の海外留学制度に応募し、

海外の高校で二年間、過ごすこともできます。

言葉を覚え、その国の文化に慣れ、その国で友達

を作り、一人で生活することはなかなか大変です。

タフにならないければやっていけません。長男は、

アメリカのテキサスで二年間、生活していました。

この「AFS」という制度ですが、大変お勧めで

す。「かわいい子には旅をさせろ」です(AFSに

ついでの詳細はインターネットでご覧下さい)。

他にも、深夜映画や講演会に連れていったり

と、その時その時で一生懸命に子育てをしてきた

つもりです。今思うと全て楽しい思い出です。

勉強も大切ですが、それ以上に「人と関わる

力」、や「自立する力」、つまり社会性を身につけ

ることが大切だと思えます。それが社会の中で

逞しく生きていく力になります。最後に、子育て

の極意は「子どもの成長」を、そして「子どもの

未来」を「信じること」です。

【幼児教育】

地域内の幼稚園・保育園のシリーズ③

ガンバって かいたよ!

みずほ保育園



「ミニトマト」

園庭でミニトマトを育てました。収穫したトマトは給食で食べました。おいしかったです。

渡辺 紬
五百川 美優

【海の生き物】

今年の夏は暑かったけど、魚たちは気持ちよく泳いでいるよ。

秀方 陽月
酒井 颯太郎



「花火」

西川祭りで花火を見ました。ドーンと大きな音がして驚きましたがとてもきれいでした。

内藤 さくら
稲川 希月

【郷土史料】

大切な郷土史料② 善光寺

西蒲・曾根郷ゆかりの文人研究会

八月十六日、今年は正午から善光寺のご開帳が行われた。まず近くの慶應寺住職によつて中央壇上にある秘仏の厨子が開かれ、読経が始まる。阿弥陀如来像と脇侍仏計三体は本堂・無量寿堂とともに新潟市指定有形文化財。あらかじめ阿弥陀様の指と境内前方に建てた回向柱とを白布で結び、垂らす。この白布に触れて参拝すれば、仏様のご利益があると信じられている。

善光寺自体、地元集落の手で維持されている。阿弥陀像安置と御堂建立のあらましを綴った「御縁起」と称す二巻が、まず集落代表により読み上げられる。

今年、は巻物の記述に登場した大関氏の子孫・大関隆男氏がお見えになり、特別に氏より再度「御縁起」が朗々と読まれたのを聞いたことは、特にありがたいことだった。

以上で儀式は終了。四十人以上の方が集まられた。周囲の壁板があげ放たれた拝殿内に座ると、気持ちが良い。建物内部の上方には大切な書画資料が掛かっている。中央には信濃善光寺一二〇世智光上人による大額二枚。これは昭和四十六年七月に新調したものと、額のふちに明記してある。

特別ここでは二つの資料につき、まずは正面智

光上人額の左の掲額の内容を紹介する。良寛と親交のあった赤塚きつての文人・中原元讓(二七九二〜一八七〇)の勢いある書で「霜台謙公賛」と題し、「静かなること処女の如く、動くこと吼獅の如く、聚まること快雨の如く、散ずること旋颯の如くして、而も風月を馬上に詠じ、神機を禪斎に透し、其の倏忽にして変化すること、端倪す可からざるは、則ち公の能く正にして又能く奇なる所以なり。」と、上杉謙信を讃える文(佐藤斎作)だ。元讓七十三歳書と署名にあり、一八六四年頃の揮毫と推定できる。元讓の後妻は押付本念寺の娘、また元讓の顕彰碑は新保西水の撰書で建った。

もう一つ堂外部正面の「無量寿」(阿弥陀仏の別名)木額三字だが、信濃生の僧道本(二七六六〜一八五八)筆を刻む。署名に「北海小比叡山蓮華峯寺主」とあることから、一八三三年から十年間佐渡の蓮華峰寺の住職を務めた頃の書と分かる。二点ともに他に解説が見られないようなので、明記しておきたい。



善光寺御開帳の様子

【国際通信】

久しぶりのふるさと

アメリカラスベガス在住 目黒 光子(鮎出身)

この夏、コロナ禍始まって以来初の一時帰国、帰省を果たすことができました。久しぶりのふるさとで有意義な時間を過ごすことができた事をとっても幸せに思います。



コロナ禍を経て、家族や友人達と再会できた事はこの上ない喜びでした。滞在中、様々なイベントに足を運び、貴重な体験をする事ができました。大風合戦、夏まつり、サーカス、蛸まつり、風鈴まつりなど、何もかも新鮮でした。小学生の息子は、私の母校の体験入学を通し、日本の文化や習慣を学ぶ事もできました。新しい出会いもあり、地元の人々の温かさに触れ、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、ふるさとの田園風景の美しさに改めて惹かれ、見るたびに感動させられました。

自然や文化、人に触れ、ふるさとの良さを再認識し、その存在の大きさを改めて感じた滞在でした。



【素謡】

声は腹から出せ!

美里団地 井澤 清一

私は能楽の世界に足を入れて以来約五十年が経ちます。謡いとか謡曲といわれていますが、素謡といえます。一番大切な事は声の出し方です。いきなり声を出せと言われても出せません。先生や指導者は、腹から声を出しなさい。謡いが軽いと言います。声は声帯から出るものであつて腹から声は出ないし、謡いや声に重さなんてあるのかな?と習う当初はとまどうばかりでした。

月日も重なり、経験を積みながら、だんだん声は腹から出せ!謡う声に重い軽いも分かるようになりました。声帯に通る肺からの空気を多くするために、肺の下の横隔膜を動かして肺の動きを助けることです。息は少し吸い、出すのも少しずつ長く出す。声は発声の最初は瞬間的に抑えてから声を出すと安定した声(音)になります。そしてその声が一番遠くの人の耳や胸に響くように謡うよう心掛けています。日々の稽古が何より大切です。



【歴史・文化】

「郷土俳人十人集」パート①

編集部 榎本 博

今年度は、『郷土読本』(昭和9年発行・鎧郷村教育会編)から当時の暮らしや生活を詠んだ俳句集を紹介する。解説は、昨年度も適切なご指導をいただいた巻地区在住の寺尾亜真李先生にご協力をお願いした。また、画像資料は、新潟日報事業社の書籍やWebなどから引用した。

下女も尻ちいさうして 涼み台

佐藤 富潤

【大意】

夏は、とても暑い。一日働いた夕方、屋外の縁台で涼をと、家のみんなと語り合っている。主人に遠慮しつつ、下女も縁台にお尻を浅く掛けて、楽しく涼をとっていることよ。



※市井しせい のひとこまを切り取り

人間味あふれる句

掲載の俳句は昭和初期に作られたもので、現在使用しない語句が使われていますが、そのまま引用させていただきました。(編集部)

(次号へ続く)

【図書館】

図書館を利用しないなんてもったいない

新潟市立西川図書館 中山美奈子

図書館は本を借りるだけの場所だと思っ
ていませんか。西蒲区の図書館には、本や新聞
をゆつくり読んだり、図書館にあるDVDを
視聴できるコーナーがあります。インター
ネットを利用できるパソコンもあります。

また様々なイベントも行っています。春の
読書週間では、童話の登場人物が出てくるビ
ンゴゲームを行いました。館内ではクイズを
したり、色とりどりの切り紙を飾りつけて楽
しむ子どもたちの様子が見られました。

さらに新潟市立図書館では、昨年三月に電
子図書館を始めました。パソコンやスマート
フォンなどで、電子書籍をいつでもどこでも
読むことができます。七月からは電子雑誌も
利用できるようサービスを拡大しました。電
子図書館の利用
には、貸出カー
ドとパスワード
が必要です。詳
しくは気軽に図
書館までお問い
合わせください。
せっかく図書館
があるので使っ
てみてください。



春の読書週間イベント「おはなしビンゴ」
切り紙の飾りつけの様子(西川図書館)

【健康講座】

体操実技指導と中高年の健康講座

家庭で誰でも気軽にできる健康体操を、楽し
くわかりやすく、実技指導をいたします。お友
達と一緒に参加しませんか！

◆開催日：第1回 10月5日(木)

第2回 10月19日(木)

第3回 11月2日(木)

第4回 11月16日(木)

第5回 11月30日(木)

最終回 12月14日(木)

◆時間：13時30分～15時

◆会場：西川健康センター

◆講師：新潟医学協会事業社
(藤口理恵子先生ほか)

◆参加費：無料

◆定員：40名(先着順)

◆持ち物：タオル・バスタオル・飲料水・マスク

◆主催・申込み：西川地域コミュニティ協議会

(電話 88-5900)



西川文化協会

「芸術・芸能秋まつり」

◆芸術展覧会(西川学習館 講堂)

10月21日(土) 10時～17時

10月22日(日) 10時～16時

いけばな・絵画・写真・竹工芸品
繭クラフト・アートフラワー布花ほか

◆芸能発表会(西川多目的ホール)

10月22日(日) 13時

剣舞道・カラオケ・クラシックバレエ
フラダンス・相撲甚句・新舞踊和太鼓・
社交ダンス

【ご家庭トレーニング】

おうちで手軽にできる
健康増進運動を

コミュニティセンター

健康サポート教室 鶴巻

健

スキマ時間を使って、2～3分で簡単にでき
る体操です。みなさまもぜひやってみてください。

スクワット 強化する筋肉：太もも、お尻の筋肉

(1)足を肩幅に開き、背筋を伸ばして立ちます。

(つま先は正面)

(2)膝をつま先と同じ方向に曲げながら、

ゆつくりとイスに座るように下ろしていく。

(膝の角度は45度位)

(3)ゆつくりと元の姿勢に戻る。



編集後記

この夏は本当に暑い日が続き、生活や健康に大
きな影響がありました。

「西川まつり」は皆様のご協力のおかげで無事
終了することが出来ました。

関係者の皆様、ご苦労様でした。

【編集委員】◎江端 繁◎灰野直義

榎本 博 土田正博